資料１－２

令和３年度 カムイワッカ湯の滝１の滝以奥

再利用検討事業　令和３年度事業実施報告

斜里町
知床斜里町観光協会

１.前回会議から事業実施に至る経緯

- 2021 年 2 月 1 日、エコツーリズム検討会議で計画概要説明。カムイワッカ部会及び ML（メーリングリスト）での承認が条件とされる
- 2021 年 3 月 4 日、カムイワッカ部会で計画概要説明、承認
- 2021 年 3 月下旬～4 月下旬、ML 上で議論。4 月 30 日、ＭＬ上で試行事業 A 承認
- 2021 年 6 月 28 日、専門家レビュー
- 2021 年 7 月 1 日～20 日、試行事業 A 実施
- 2021 年 8 月下旬～9 月上旬、ML 上で議論。9 月 9 日、Web 会議で試行事業 B 承認
- 2021 年 10 月 1 日～3 日、試行事業 B 実施

２.試行事業結果概要

項　目	試行事業 A	試行事業 B
1）形態/タイプ	ガイド引率型	個人利用型
2）試行期間	7/1～7/20 （計画は 6/21～7/20。コロナ禍により 10 日遅れ）	10/2～10/4
3）特徴･コントロール	登録引率者資質、研修、ガイドラインによって、安全を確保	事前情報周知・誓約、レクチャーによって､自己責任にもとづく利用を徹底
4）現地管理体制	1～2 名	5～7 名
5）立入人数	32 組・81 名	151 名（10/1：42 名、10/2：37 名、10/3：72 名）
6）アンケート調査回収数	57 件	128 件
7）怪我・トラブル等	なし	なし
8）その他特記事項	ガイド引率者研修･安全管理研修開催	シャトルバスと連動 更衣室､荷物預かりサービス提供

３.試行事業 A：計画と実績の概要

項　目		計　画	実　績
１．基本事項			
	1）目的	ガイド引率による課題抽出、ルール・管理運営体制の検討	一連のフローを概ね計画通り構築・実施。意見交換実施。課題抽出・検討作業は今後
	2）試行期間・天候	2021 年 6 月 21 日～7 月 20 日	2021 年 7 月 1 日～7 月 20 日 コロナ緊急事態宣言によって、専門家レビューが 1 か月遅れ、事業開始も 10 日遅れ
	3）ガイド引率者要件、登録者数	要件 5 項目	計画通り 登録者 12 社 2 0 名
	4）引率可能人数	6 名まで	遵守
	5）入渓時刻	8:30～16:30	遵守
	6）安全装備	ヘルメット着用、無線機携行	遵守
	7）協力金	1 名 1,000 円	有料参加者全員から徴収済
２．予約・申し込み			
	1）予約方法	Web サイト	観光協会 Web サイトや観光案内所で事業周知。フリー客は、催行予定のガイド事業者を紹介。ガイド事業者は、自社顧客を中心に紹介
	2）ツアー形態	各社	カムイワッカ単独催行会社 2 社。その他は周遊組み込み
	3）受付手続き	自然センター常設カウンターにて、ブリーフィング等	計画通り
	4）移動	各社	計画どおり。各社。現地集合解散の事業者あり
	5）帰着報告	自然センター常設カウンターにて、ヘルメット回収、アンケート依頼など	計画通り。トラブルなし
３．現地管理			
	1）現地管理体制	1 名配置	6/21～7/20 の間、1～2 名配置。主に道路上で総合案内、補助
	2）安全管理全般	ガイドラインによる	ガイドラインに従って、各事業者が責任をもって対応
	3）特記事項	一般利用者への指導を兼ねる。知床財団担当。	規制ラインを超える一般利用者が数件。通信体制の構築に課題。
4.利用動態･アンケート			
	1）アンケート調査	全数調査	参加 81 名中 57 名から回収

ガイドの事前研修	救助等の事前確認
4 の滝の手前に規制線を設置	ガイドツアーの様子
自然センターでウォーターシューズレンタルも実施した	3 の滝、ガイドのサポートで登る

４.試行事業 B：計画と実績の概要

項　目		計　画	実　績
1．基本事項			
	1）目的	個人利用に向けた管理運営体制の検討と構築	一連のフローを概ね計画通り構築・実施。検証作業は今後
	2）試行期間・天候	2021 年 10 月 2～4 日	計画どおり 3 日間実施。 10 月 2 日の午前中に雨。それ以外は概ね晴れ
	3）立入年齢	中学生以上	遵守
	4) 1 グループ上限人数	6 名まで	遵守
	5）予約管理、1 日利用上限人数	レクチャー受講枠で制御 1 日最大 100 名まで	予約システム・レクチャー受講枠によって管理 上限人数遵守（最大 72 名）
	6）説明・同意	重要事項説明 誓約書サイン	予約及び受付時に重要事項説明書を提示・説明。全員サイン
	7）協力金	1 名 1,000 円	個人利用者全員から徴収済。 ツアー分は今後請求
2．予約・申し込み			
	1）予約方法	Web サイト	Web 上に簡易な予約フォームを構築・運用。トラブルなし
	2）レクチャー枠	1 日 3 回 9:00,10:00,13:00、各 25 名	計画通り。レクチャー場所の混雑緩和のため､2 回に分けて開催した時間枠あり
	3）受付	センター内の特設カウンター	計画通り
	4）レクチャー	映像を用いて 10 分程度	計画通り｡動画､写真を活用したレクチャー。ヘルメット装着実演
	5）移動	シャトルバスを用いた自由移動	計画通り。トラブルなし
	6）帰着報告	ヘルメット、GPS ロガー回収。 アンケート記入依頼	ヘルメット、GPS は全数回収。 アンケート数名分未回収
3．現地管理			
	1）現地管理体制	5 名配置	5～7 名配置。 （クマ出没対応中に)4 の滝ラインが数分不在となり､1 名が規制ラインを突破｡5 の滝まで行かれる事案発生
	2）現地サービス	仮設更衣室検討	仮設テントによる更衣場所提供：約 6～7 割の人が利用 荷物預かりサービス提供:約 7～8 割の人が利用
	3）特記事項		全裸入浴への対応 履物（裸足、靴下の是非） マイヘルメット容認の是非 5 の滝要望

項　目		計　画	実　績
4.利用動態･アンケート			
	1）アンケート調査	全数調査 試行Ａとの比較可能な設計	ツアーを除く一般参加者 132 名中 128 名から回収。 単純集計まで終了。今後、試行Ａとの比較やクロス集計
	2）利用動態調査	受付から帰着までの行動把握	ヘルメットに GPS ロガーを装着。サンプル数：64。現在分析中。北大全面協力
	3）交通との関係	シャトルバスアンケートとの連携	今後解析

個人利用受付（事前申し込み制）

レクチャーにて注意事項を確認

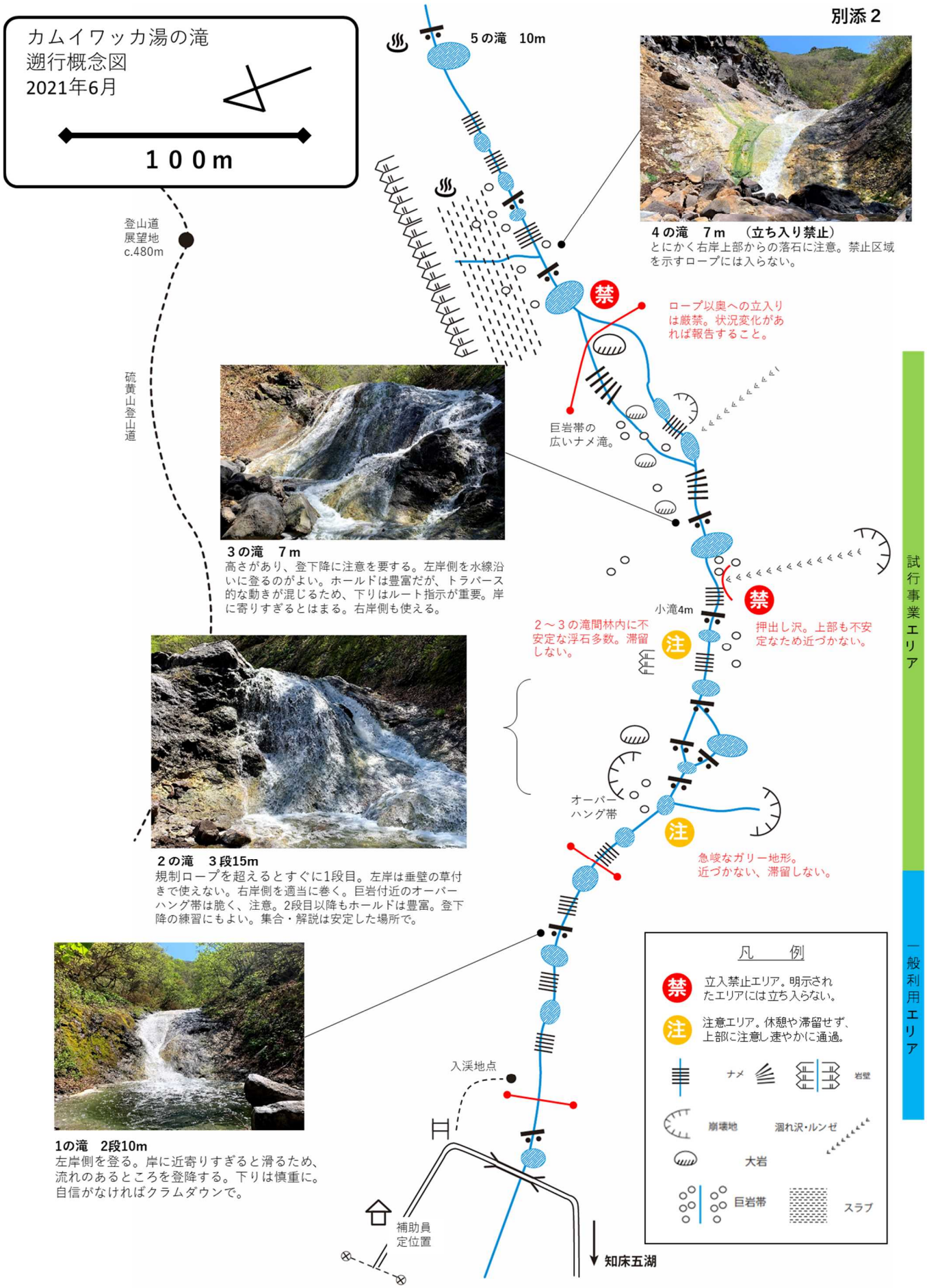
バス停からカムイワッカ湯の滝を目指す

個人利用はそれぞれのペースで

シャトルバスで帰路につく

北海道大学による調査を実施

別添２


カムイワッカ湯の滝
遡行概念図
2021年6月
１００m
登山道
展望地
c.480m
硫黄山登山道
５の滝　10m
４の滝　７m　（立ち入り禁止）
とにかく右岸上部からの落石に注意。禁止区域を示すロープには入らない。
禁
ロープ以奥への立入りは厳禁。状況変化があれば報告すること。
巨岩帯の広いナメ滝。
３の滝　７m
高さがあり、登下降に注意を要する。左岸側を水線沿いに登るのがよい。ホールドは豊富だが、トラバース的な動きが混じるため、下りはルート指示が重要。岸に寄りすぎるとはまる。右岸側も使える。
小滝4m
２～３の滝間林内に不安定な浮石多数。滞留しない。
注
禁
押出し沢。上部も不安定なため近づかない。
２の滝　３段15m
規制ロープを超えるとすぐに1段目。左岸は垂壁の草付きで使えない。右岸側を適当に巻く。巨岩付近のオーバーハング帯は脆く、注意。2段目以降もホールドは豊富。登下降の練習にもよい。集合・解説は安定した場所で。
オーバーハング帯
注
急峻なガリー地形。近づかない、滞留しない。
試行事業エリア
一般利用エリア
凡　例
禁　立入禁止エリア。明示されたエリアには立ち入らない。
注　注意エリア。休憩や滞留せず、上部に注意し速やかに通過。
ナメ
岩壁
崩壊地
溜れ沢・ルンゼ
大岩
巨岩帯
スラブ
入渓地点
補助員定位置
知床五湖
1の滝　2段10m
左岸側を登る。岸に近寄りすぎると滑るため、流れのあるところを登降する。下りは慎重に。自信がなければクラムダウンで。